

謹賀新年 2016

1. 2015年4月からは定年延長に突入、2016年度も在留予定：ここ、にさん年、学生との関係が私の一方的な変化で一変。職業的人間関係ながら、次々と替わる若者と接する関係を持ち得た幸せを実感。 ←去りゆく時のノスタルジー

2. 2015/2016のぼくの研究：年代測定の小さな新境地に昨年の今頃はあったのですが、放置状態。飛鳥時代の研究？に填まってしまっただらだと時間が過ぎました。記紀に始まり結構の文献に接してきました。小さな発見をした（2015年春）ために（2015年秋の日本地理学会歴史地理セッションで発表）、とんだ横道にそれています。12月になって、もとゼミ生の方からぼくの岩盤崩壊の工事中の路頭があるという連絡。測量の専門家にも協力を仰いで、日曜日に一緒に観察。帰宅後、混乱して、再三同路頭へ。確かにぼくの岩盤崩壊でした。2016年はできるだけ早く飛鳥から離脱して、まずは年代測定試料の作成、福島原発事故の放射能調査などをまとめたいと思っています。2015年にはエネルギー問題についての共著本が出ました。 ←研究は娯楽の最高峰

3. 床とはの整理：父の遺した資料や家の「片付け」が肩に重くのしかかるなか、自分の荷物が最近とみに頭を床に押しつけます。自分の子供が、はるかに離脱しているのが救いということでしょうか ←心置きなく

追伸とお詫び：2015年の年賀状を昨日、全部じっくり読ませていただきました。そして個々にお返事を肉筆でと思いましたが時間切れで、一切に目をつぶって、投函してしまいます。ご無礼、平にご容赦。年に1回のご挨拶すらまともにできない、繰り返しもそろそろ終演ですが。 ←言い分け、無いよなあ。

2015.12.31

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします